

No.	意見要旨	湯沢市の考え方
1	<p>「官民連携の推進」ということで、民間への業務委託によって、市の財政の収支が改善するというのであれば、そのこと自体に反対するものではありませんが、業務委託の現場で働く市民が不利益を感じるような業務委託であってはならないと思います。</p> <p>水道という市民の生命に関わる重要な仕事でありますので、現場で働く人も誇りと気概を持って働いていることと思います。また、民間ということ、行政にはなし得ないブレイクスルーな取り組みにも期待しています。そしていつまでもそこで働く方々に優しい湯沢市であってほしいです。</p>	<p>官民連携については、人口減少に伴う給水収益の減少や施設の老朽化進行による更新需要の増大など、今後迎える厳しい経営環境の中、水道事業を維持し健全な経営を目指すうえで、有効な手段の一つとして捉えております。</p> <p>今後もこれまでの委託内容に加え、業務の拡充を図るなど、業務の継続性に向けた検討を進めていく考えです。</p> <p>また、業務委託の現場で働く方々の労働条件については、委託業者と当事者との双方合意のもとで決められるものであり、市として制約するものではありませんが、民間の働き方改革の取り組みに期待するとともに、働きやすい環境となるよう、業務の管理監督を通じて意見交換を行っていきたいと考えております。</p>